

自動車アフターマーケット高度化コンソーシアム設立

早稲田環境研究所
日本自動車リサイクル部品販売団体協議会
地球健康クラブ

循環型社会構築に向け

損保業界とも連携

【早稲田環境研究所（WEI）、小野田弘士代表・早稲田大学環境総合研究センター准教授、日本自動車リサイクル部品販売団体協議会グリーンポイントクラブ（GPC）、清水信夫代表】、【地球健康クラブ（地球KC、有賀博之代表）の3者は、自動車分野での循環型社会・低炭素社会構築を目的とした「自動車アフターマーケット高度化コンソーシアム」を発足した。同コンソーシアムは、自動車リサイクル部品の利用促進、環境に配慮した整備の実践などを産官学が一体となって推進する取り組みで、損保業界とも連携を図る。地球温暖化問題などへの関心が高まる中、CO2排出量で大きな比重を占める自動車業界での環境配慮活動が加速していった。

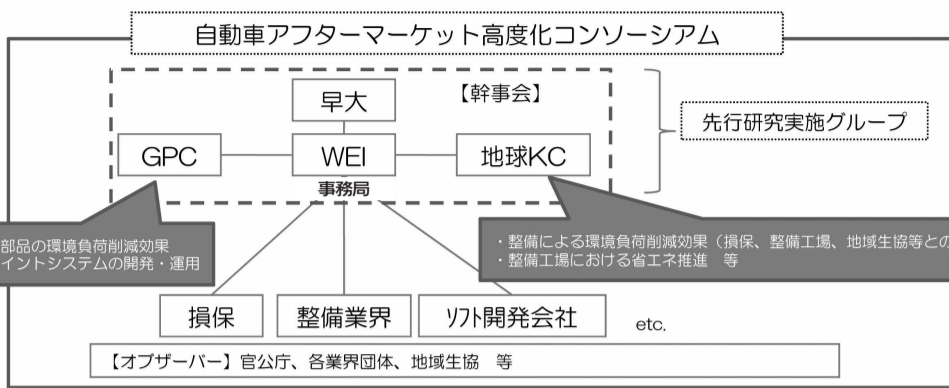
コンソーシアムは、W E I、GPC、地球KC が幹事会を務め、損保業

して官公庁や各業界団体、地域生協などの参画も促して、アフターマーケットの在り方を協議・実践していく。

提供する情報サービスは、早稲田大学環境総合研究センターの研究成果をベースとしており、自動車リサイクル部品のCO2削減効果を数値化するグリーンポイントシステム（GPS）や、リサイクル部品、廃車車両、整備・メンテナンス、燃費向上グッズ、エコドライブなどの環境負荷削減効果をデータベース化した「Watermina」システムを会員の自動車関連業界の各事業者が活用。自動車ユーザーへの付加サービスとして情報提供することで、環境への意識を高め、「エコ・ユーザー（サステイナビリティ・ユーザー）」を育成する。

また、情報共有だけでなく、サービスやブランドイメージなど会員としての加入メリットの向上も図っていく。コンソーシアム発足時点で既にGPCメンバーとなっている74社をはじめ、会員数は100社以上になる見込み。損保業界でも既に数社が名乗りを上げており、自動車保険の保険金削減効果や整備業界などと連動した付加サービス、CSR活動に期待がもたれている。

WEIの小野田代表は「アフターマーケット全体で環境配慮という問題を考えて場を提供したい」と考え、コンソーシアムを立ち上げた。さまざまなステークホルダーを巻き込んでエコ・ユーザーの育成を進めていきたい」とし、コンソーシアムの発展に意欲を見せている。



・リサイクル部品の環境負荷削減効果
・グリーンポイントシステムの開発・運用

・整備による環境負荷削減効果（損保、整備工場、地域生協等との連携）
・整備工場における省エネ推進 等

【オブザーバー】官公庁、各業界団体、地域生協 等